



発行所
11特OB会

連絡先

札幌市南区
真駒内17番地
第11特科隊広報室
TEL (011)-581-3191
内線2645

印刷
札幌造型合同会社

主な記事

- 二面 隊区市町村長・協力諸団体挨拶
- 三面 各中隊長・最前任上級曹長挨拶
- 四面 年男新年の抱負
- 五面 11特OB会懇親会
- 六面 特科隊実射練成・夏季訓練検閲風景等
- 七面 小樽市総合防災訓練風景等
- 八面 定年退官者の紹介等

新年 賀 謹



新年のご挨拶



第十一特科隊長
一等陸佐 高山 将一

明けましておめでとうございます。

十一特OB会、やまぶき会をはじめ協力諸団体、そして隊員ご家族の皆様とともに、新しい年を迎えられますことをお喜び申し上げます。

昨年、輝かしい歴史と伝統を誇る第十一特科隊の隊長に着任し、要望事項「元気で篤実かつ前向きであれ」、「情熱と愛情溢れる部隊であれ」を掲げ、各種隊務に邁進してまいりました。

特に訓練面においては、「平成三十年度第十一特科隊訓練検閲」における優秀な成果獲得を目標に、年度当初から実戦的訓練を重ねるほか、第十一旅団の火力戦闘部隊として、任務を完遂すべく射撃練度の向上に努めてまいりました。

また、平成三十年九月に発生をした「北海道胆振東部地震」に係る災害派遣においては、発災から間もなくして派遣準備を完了するとともに、小樽市等の特科隊担当隊区の偵察及び情報収集、苫小牧西港北埠頭における給食支援等を行い、派遣任務を完遂しました。これも一重に、任務に対する強い責任感を保持した特科隊員の努力、そして我々を支えてくれた皆様方のお陰であると深く感謝する次第です。

今年猪年、十一年目の新生特科隊となりました。引き続き「元気で前向き」な姿勢をもって隊務に励み、十一特OB会、やまぶき会をはじめ、応援して頂いている皆様と信頼関係を深めるため、更に前進する所存です。今後とも宜しくお願い申し上げます。

新年のご挨拶



十一特OB会
会長 黒田 則幸

新年明けましておめでとうございます。

第十一特科隊の皆様、ご家族の皆様、清々しい希望に満ちた新年を迎えられたことをお喜び申し上げます。

昨年は隊長をはじめ隊員、ご家族の皆様そしてOB会員の皆様のご指導・ご支援をいただき、滞りなくOB会の運営を行うことが出来ました。

今後引き続きご協力をお願い申し上げます。

さて、今年四月三十日に約二百年ぶりに天皇陛下が譲位をされ、五月一日に皇太子殿下が新天皇に即位し新しい御世が始まる節目の年であります。

残り少ない平成の日々を有意義に過ごし静謐(せいひつ)のうちに新しい時代を迎えたいものです。

また、今年、七十回の節目を迎えるさつぽろ雪まつり支援で多くの隊員の方々が厳しい寒さの中、札幌を訪れる数多くの方々に感動を届けるべく黙々と任務を遂行されることと思います。怪我のないよう安全に雪像を制作されることを祈念申し上げます。

時代は変わり、多様な価値観が尊重されるようになっていきます。しかしながら陸上自衛隊の本質はいかなる時代であっても不変であり、国民の負託にこたえ、今後益々多様な任務において活躍することが期待されるものと思っております。

隊員の皆様には、日々の訓練に邁進され隊長を核として一致団結、武力集団の原点を忘れず「強く」して「謙虚」で真に逞しく精強な部隊へと発展されますよう心よりご祈念申し上げます。

私共OB会は、会勢充実と会員相互の親睦を図りつつ、引き続き隊員の皆様に物心両面での支援・協力を行い隊の任務達成の一助となるべく活動してまいります。

年頭にあたり、第十一特科隊の益々のご発展と、ご家族共々のご多幸とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

第11特科隊

中隊長、最先任上級曹長から新年のご挨拶



本部管理中隊長
1等陸尉 石井 邦明

新年明けましておめでとうございませう。

皆様におかれましては希望に満ちた輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、平成30年北海道胆振東部地震において、隊員家族等も被災する中で災害派遣任務に従事し、任務を完遂してまいりました。

また、訓練班検閲を昨年に引き続き実施し、着実に訓練精度を向上させ、職種等強化施策(特科)及び特科隊訓練検閲においては、隊の能力を最大限発揮し得る基盤を確立し、中隊一丸となって隊の任務達成に寄与しました。

さらに、競技会においては、隊小火器射撃競技会で優勝することができ、多忙な中でも充実した一年となりました。

この間におけるご家族及び各種協力諸団体の皆様のご理解とご協力に対し深く感謝申し上げます。

本年も「更に前へ」を合言葉に、部隊・隊員の精進強化に邁進するとともに各種事態にも即応し与えられた任務を完遂すべく日々精進して参りますので引き続きご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



第1中隊長
3等陸佐 西本 拓

新年明けましておめでとうございませう。

旧年中は隊員ご家族の皆様、協力諸団体の皆様、諸先輩の皆様方から格別のご厚情を賜り誠にありがとうございました。

昨年も日本を取り巻く安全保障環境が年々厳しさを増す中、任務に即応して完遂できる中隊を育成するべく教育訓練に取り組んでまいりました。

第10普通科連隊の改編を見据えた指揮所演習に参加し中隊の火力調整機能の強化、ATCEシステムにより第11戦車大隊と協同して指揮機関の情報と機動と火力の連携を演練、6月には中隊実射検閲を受閲する等中隊の練度を段階的に向上し、じ後の旅団攻撃演習、隊訓練検閲、総合戦闘射撃において年度の訓練目標を達成しました。

本年も引き続き隊員には「責任意の保持」「融和団結」を要望し教育訓練を主軸として任務を即応完遂できる中隊を育成するよう日々精進する所存です。

皆様方には引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



第2中隊長
3等陸佐 千葉 敬

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

隊員ご家族の皆様、協力諸団体の皆様、諸先輩の皆様におかれましては平素から中隊へのご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

中隊は昨年、中隊実射訓練検閲、旅団攻撃演習、隊訓練検閲及び総合戦闘射撃訓練等に参加して、多くの成果と教訓を得て着実に練度を向上させました。

また、隊武道競技会におきましては、日頃の練成の成果を十分に発揮し、優勝の成果を収めることが出来ました。

これも隊員御家族、協力諸団体の皆様、諸先輩の皆様の御理解と御協力の賜物と深く感謝申し上げます。

本年は、新年号の元年となる節目の年を迎え、中隊は、昨年の成果及び教訓事項を活かし中隊の更なる飛躍を目指して一層の練度向上に努めて参ります。



第3中隊長
3等陸佐 早坂 剛

新年明けましておめでとうございませう。

隊員ご家族の皆様、十一特科B会、やまぶき会員の方をはじめ協力諸団体の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

本年も変わらず、どうぞよろしくお願いいたします。

平成30年は、北海道において胆振東部地震が発生しました。被災された方におかれましては、お見舞い申し上げます。

1日も早く、健やかな毎日を取り戻されますことを、心よりお祈り申し上げます。



最先任上級曹長
准陸尉 柴田 雄二

新年明けましておめでとうございませう。

隊員及びご家族、並びに協力諸団体の皆様におかれましては、輝かしい新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

特科隊最先任上級曹長として情熱と愛情溢れる特科隊にするべく、准曹士に対して、充実感・達成感が得られる様日々指導してまいりました。

昨年は、訓練検閲を最大の目標に、隊員一人一人が、与えられた任務を黙々と完遂するとともに、准曹士全員が元気で篤実かつ前向きに教育訓練に取り組む多様な成果を収めることが出来ました。

本年も、昨年同様、隊員と共に元気で情熱に溢れる部隊になるよう、自己の職域である上意下達・下意上達に努め、基本基礎の徹底を図り、真に戦える隊員の育成に努めて参りますので、引き続き、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、本年も皆様にご挨拶とさせていただきます。





2019年(猪)年男さんの抱負

若さ溢れる24歳
(平成7年生まれ)

本部管理中隊 柴田3曹



あけましておめでとうございます。昨年は陸曹2年目で色々な経験をさせて頂きました。今年は少しでも恩返し出来る様、一生懸命に何事も前向きに捉え精進していきたいと思っております。平成7年生まれは乙亥(きのこ)といいい、特徴としては勤勉で活動家ですが、理屈が多く敵を作りやすいとの事なので気をつけていきます。今年もご指導宜しくお願いします。

第1中隊 藤本士長



新年あけましておめでとうございます。私は今年で24歳になり、2度目の年男を迎えます。これまで私が健康で成長してこられたのは両親、先輩、同僚、そして私が関わった全ての方々のおかげであり、大変感謝しております。年男を迎えるにあたり今までお世話になった方々に恩返しをしたいと考えています。私にできる恩返し、それは、「立派な陸曹になる」ことです。そのためにも陸曹候補生試験に合格できるように日々体力、知識、技能の向上をできるように努力していきます。

第2中隊 保田3曹



新年あけましておめでとうございます。今年で人生2度目の年男を迎えました。昨年は第1陸曹教育隊へ入校し多くの事を学ぶことが出来ましたが、私が自衛官として社会人として一歩前進できたのは部隊、中隊の皆様のお蔭だと思っております。更に部隊に貢献できるように努力していきたいと思っております。

第2中隊 寶田士長



明けましておめでとうございます。今年度で平成が終わり新しい年号になります。気持ちを今一度改めて、仕事もプライ

ベートも充実した一年にして亥年の年男としてまっすぐだけではなく周辺視もつかって、現在入所している自動車教習所ですっかりと免許と特技を取得し、部隊に戻り仕事に貢献出来る年男として今年も一年間頑張っていきたいと思っております。そして、色々な事に挑戦し、日々努力をしていこうと思っております。

第2中隊 梶原1士



新年あけましておめでとうございます。昨年の春に自衛官として着任し、9月に第2中隊へ配属となりました。自衛官また特科隊員として日が浅く、まだまだ能力も低いですが、立派な先輩の方の姿を見て多くのことを学んでいきたいと考えております。至らぬ点が多くご迷惑をおかけする事があると思いますが、その際は中隊、部隊関係なく、自衛官として、人間として成長できるようにご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

第3中隊 金川士長



昨年は陸曹候補生の指定を受け、自衛官として大きな節目を迎えました。第一陸曹教育隊では積極果敢、粘り強く、何事にも率先して取り組んでいき、陸曹になった際は、今まで支えてくれた方々に恩返しする事、中隊に精一杯貢献する事を年男の抱負とします。

第3中隊 北村士長



あけましておめでとうございます。今年で人生2度目の年男を迎えました。自衛官としても6年目、目標は陸曹候補生の指定そして陸曹になる事と決めています。今まで指導してくださった先輩、上司に恩返ししていくとともに、知識・経験として学んできた事を最大限に活かして貢献し、中隊を盛り上げていきます。

第3中隊 吉川士長



あけましておめでとうございます。私は今年で24歳となり、2回目の年男となります。そこで今年には絶対叶えたい目標があります。それは陸曹候補生指定され、第3中隊に恩返しする事です。その目標に向かい、これまで以上に努力を重ね、様々な経験を積み、充実した1年にしていこうと考えています。

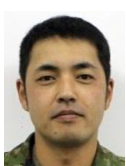
まだまだ若い36歳
(昭和58年生まれ)

第1中隊 内山2曹



明けましておめでとうございます。11月に転属してきて今年で3年目になります。幼少期から今までのいとしし年らしきとかけ離れた36年を送ってきました。今年こそは繁華一番、若いうちしかできない! やろうと思えばいつでも何でもできる。始めるのに遅いなんかない。36歳ひとつひとつ目標に向かって何事にも挑戦する気持ちを忘れずにいたいと思っております。

第1中隊 松澤3曹



あけましておめでとうございます。1年もあつという間に過ぎてしまいました。これまで沢山の方のご指導、ご協力に感謝しております。今年1年も昨年以上に頑張りたいと思っております。

第1中隊 川崎3曹



明けましておめでとうございます。今年一年の抱負といたしまして年明け早々の雪まつり技術員の一人として頑張りたい今年一年を精進していきます。

第1中隊 藤原3曹



明けましておめでとうございます。今年で3度目の年男、初心と周りの方々の感謝の気持ちを忘れず、日々精進していきたいと思っております。健康管理や体力管理に気を付けて1年間頑張っていきたいと思っております。

第2中隊 西川2曹



新年あけましておめでとうございます。3度目の年男という節目の年を迎えました。今までの自衛隊人生を振り返ると、上司、先輩、同僚、後輩に支えられる人生であったと思っております。今年も年男であり平成から年号も変わる節目でもあるので、これからの自分の任務や立場を考え理解し、中隊の任務達成に寄与できる様、日々努力していきます。

第3中隊 今泉3曹



新年あけましておめでとうございます。新年の抱負としまして、フルマラソン初挑戦・完走を掲げました。そのため、冬場の走り込みをしっかり積むため、少しでも時間を見つけて走る習慣を確立して行こうと思っております。目指せ4分/km!

第3中隊 河野3曹



明けましておめでとうございます。今年私の抱負につきましては、無事に入校を終えて帰ってくる事です。長期間の不在で、部隊に迷惑を掛ける部分があると思いますが、幹部自衛官として成長をするという自覚を持ち、知識・技能を修得し、入校を終えた際は、全力で部隊・中隊に貢献したいと思っております。

本部管理中隊 堀1曹



明けましておめでとうございます。今年で48歳となり、4回目の年男を迎える事になりました。入隊以来、無事に勤務することが出来るのも上司、先輩、同僚、後輩の方々のおかげであり感謝しております。新年の抱負を「前進」とし、日々努力していきたいと思っております。今年も1年宜しくお祈りいたします。

本部管理中隊 津川1曹



明けましておめでとうございます。今年で48歳の年男です。イノシシは目標に向かって行く本能的動物です。ある意味目標に向かう点では、良いと思えますがそれでは良いとは思えません。やはり自分一人では限界があります。皆さんの意見・助言を大切に目標を立てて戦力的イノシシとして頑張りたいと思っております。今後ともよろしくお祈りいたします。

第2中隊 奥山2曹



今年で4回目の年男を迎え、定年まで残すところ約6年になりました。此処まで勤務できたのも関係上司の方々ははじめ、同僚及び後輩に支えられたおかげであると感謝します。本年の抱負としては、自分のこれまで培った経験を少しでも後輩に指導できれぼと思っております。また、節目の年として、気持ちを新たに、残りの自衛隊生活を頑張ります。

第3中隊 川村1曹



新年あけましておめでとうございます。早いもので、今年で4回目の年男を迎えました。人生で言えばもう半分は優に超えている年齢です。年々体力等の衰えは感じますが、日々精進して精神・身体を鍛え続け、今年度は猪突猛進、広い視野を持ち、心も新たに頑張っていきたいと思っております。

気持ち若く48歳
(昭和46年生まれ)

本部管理中隊 飯沼曹長



新年あけましておめでとうございます。今年猪突猛進。家庭・職場・地域において、より貢献できるように自分を高め、広い視野を持ち心も新たに頑張ろうと思っております。

11特OB会懇親会

平成30年11月3日、札幌市内のホテルにおいて、平成30年度11特OB会（会長 黒田氏）懇親会が行われた。

懇親会には、OB会員のほか、現11特科隊所属の隊員も含め約60名が集まり、叙勲受章者、古希や喜寿になられた方に対して記念品の贈呈等が行われた。

各テーブルでは、連隊時代や特科隊の近況の話題などで大いに盛り上がり、懇親会の終わりにには全員で第11特科隊歌を熱唱し、盛会のうちに懇親会を終えた。

▲全員で第11特科隊歌を熱唱



「自衛隊を学ぶ女性の集い」での部外講話

第11特科隊長高山1佐は、平成30年11月12日、小樽市内において、自衛隊小樽協力会が主催する「自衛隊を学ぶ女性の集い」に講師として招かれ、部外講話を行った。

本講話は、自衛隊及び第11特科隊に対する理解と信頼感の醸成を目的に、自衛隊が行う災害派遣活動を説明するとともに、自衛隊の災害派遣の仕組み、災害派遣実績、国の災害対応の考え方、災害対応における自衛隊の体制・能力及び事業継続計画等について講話を実施した。

約1時間に及ぶ聴講を終了した参加者からは「災害派遣要請の仕組みについて詳しく知る事が出来た。」「大変勉強になり、参加して良かった。」「コメントがあり、関心の高さが伺えた。」

▲部外講話を行う第11特科隊長



新成人の抱負

第2中隊 松原士長



明けましておめでとうございます。私は今年で二十歳を迎えます。新成人として、社会人として行動の一つに責任を持ち何事にも取り組んで行こうと思います。また昨年10月に後輩を迎え、自衛官として、人として尊敬されるように頑張っていこうと思います。まだ半年前の私ですがご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

第3中隊 本多士長



成人を迎えるにあたり「先輩方に認められる隊員になる」を抱負として掲げます。

そのため、何事にも関心と問題意識を持ち国民の信頼を裏切らない、を念頭に自覚ある行動を取って行きたいと思えます。

また勤務面、訓練面においても後輩の良き模範となれるよう、責任感の強い隊員を目指し部隊に貢献していきます。

第3中隊 末長士長



自分が成人になるにあたり、まずここまで何不自由なく育ててくれた両親に感謝の気持ちを伝えたいと思います。

また、両親だけではなく、中隊の上司、先輩の方々、挙げればきりがありません。

この感謝の気持ちを忘れる事無く、何事に関しても恩返しをしていくという気持ちで、積極的に行動したいと思います。

皆さん
おめでとう
ございます。

本年も幸多き
年でありますよう
お祈りいたします。

第2回 特科隊実射練成

隊は、平成30年8月25日から29日までの間、矢白別演習場において、平成30年度第2回隊実射練成訓練を行った。

本訓練は、平成30年度夏季隊集中訓練(第1回隊実射練成訓練)に引き続き、特科隊実射検閲に向けた射撃における各機関の連携及び火砲の実射の速度と精度を向上する目的で行われ、長射程弾の閉係弾道射撃による各火砲固有修正量の決定、FO修正射、精密試射等を実施した。



◀平成30年度第2回目となる隊実射練成訓練

第2次 旅団夏季訓練検閲

隊は、平成30年10月24日から29日の間、北海道大演習場(千歳・恵庭地区)において、平成30年度特科隊訓練検閲を受閲した。

本検閲は、24日に旅団長の訓示を受け、隊計画による隊容検査及び隊長訓示を行い、その中で、隊長は各隊員に対し「それぞれの任務・役割を考え、行動せよ。」「非戦闘損耗の回避」の2点を検閲受閲に対する要望事項として述べた。その後、同日17時に状況が開始され、車両行進に引き続き、集結地の占領等を行うとともに、25日以降は、築城計画に基づき堅固な防衛陣地を構築して、防衛戦闘準備を行った。

28日からは、防衛戦闘を行い、隊員一人一人がそれぞれの任務・役割を考え行動し、周密な火力調整に基づき、積極的な火力発揮に努め、旅団の火力戦闘部隊として作戦に寄与した。5夜6日に及ぶ訓練検閲は、防衛における旅団特科隊の行動について検され各隊員は、これまでの訓練で培った能力を遺憾なく発揮し、任務を完遂した。



◀隊計画による隊容検査

新隊員特技及び一般曹候補生課程 後期教育総合訓練

隊は、平成30年9月13日、北海道大演習場西岡地区において、平成30年度新隊員特技課程及び一般陸曹候補生課程後期教育総合訓練を行った。

本訓練は、新隊員後期教育の集大成であり、約3カ月間にわたる教育の成果を確認する目的で行われた。

新隊員は、区隊長の命令下達後、陣地の選定、火砲の陣地進入から射撃までの一連の行動を行い、隊長、教育隊長、各中隊長、最先任上級曹長、各中隊長先任上級曹長が見守る中、基本に忠実かつ確実に各種動作を実施し遺憾なく教育の成果を発揮した。総合訓練終了後、隊長から「教育開始式の時に比べ、自衛官らしい良い目つきになってきた。教育後は自信を持って部隊に行って欲しい。」と訓示を受け、新隊員の顔に充実感がみまぎっていた。

新隊員は9月18日の教育修了式の後、第10普通科連隊及び第11特科隊に配置された。



◀訓練開始前に円陣を組んで「気合入れ」

第134期陸曹候補生 履修前教育総合訓練

隊は、平成30年12月10日から11日の間、北海道大演習場西岡地区において、陸曹候補生5名に対する履修前教育総合訓練を行った。

本訓練は履修前教育の集大成であり、小部隊指揮官としての状況判断能力及び指揮能力について、今まで積み上げてきた各候補生の成果を確認する目的で行われた。

10日、陸曹候補生らは、小隊長からの命令下達後、斥候としての偵察活動及び分隊長として分隊員に対する偵察結果に基づく戦闘予行を行ったのち、11日早朝から、各候補生が分隊長として分隊を指揮し攻撃目標を奪取して厳寒の中、本教育で培った知識・技能を最大限発揮した。

総合訓練終了後、教育隊長から、「立場を考え自分たちがどうすべきか、状況判断・指揮能力を鍛え、今後の入校に臨むように」と訓示を受け、陸曹候補生らは入校に向けて、気持ちを新たにしました。



◀攻撃目標への突入

小樽市総合防災訓練

隊は、平成30年8月31日、小樽市の厩(うまや)岸壁において実施された平成30年度小樽市総合防災訓練に参加した。

訓練は、小樽市主催のもと地震による土砂災害により交通障害及び負傷者が多数発生するという想定で警察、消防及び災害駆けつけ隊(ボランティア団体)との合同で行われ、被災状況の偵察のための自衛隊のオートバイ(偵察用)の派遣、災害駆けつけ隊による土砂の排除を行ったのち、自衛隊主力が警察の誘導により災害現場へ進入し人命救助セットを使用した事故車両からの負傷者の救出及び搬送を行った。自衛隊が行った負傷者の救出は、迅速に災害現場へ器材を搬入・使用して、班長(本部管理中隊 川上2曹)の班員に対する的確な号令・指示のもと、救出の障害となる鉄骨を切断したのち行われた。



▲救出した負傷者の担架搬送

小樽アニメパーティー2018 装備品展示支援

隊は、平成30年9月1日及び2日の両日、小樽市で開催された「小樽アニメパーティー2018」における札幌地方協力本部の広報活動に装備品展示支援を行った。

本支援は、道内外から多数のコスプレをしたアニメファンや観光客が会場を訪れる中、その一角に自衛隊のブースが設けられ、札幌地方協力本部による制服等の試着並びに募集に関する広報を行うとともに、82式指揮通信車、オートバイ(偵察用)及び1/2トラックスを展示支援した。



▲会場となったサンモール一番街



▲装備品を背景に記念撮影

北海道胆振東部地震に係る 災害派遣 (給食支援)

隊は、平成30年9月15日から17日の間、9月6日未明に発生した「平成30年北海道胆振東部地震」に係る災害派遣において、苫小牧市の西港北埠頭で給食支援を行なった。

本支援は、「苫小牧西港に停泊中の防衛省のチャーター船舶「はくおう」に入浴するため来訪した被災者に対して、出来立ての食事を提供するもので、同船舶の近傍に設置した天幕内で小さな子供たちも食べ易く裁断した数種類の味のザンギとおにぎりを準備し、3日間で延べ1050食を提供した。食事をされた方からは、「大変おいしく、優しいザンギでした。また食べたいです。」「嬉しくて涙が出ます。本当にありがとうございます。」「自衛隊の方がそばに居ると安心します。」「等のお礼のコメントを頂いた。18日朝、無事に真駒内駐屯地へ帰隊した。



▲ザンギの調理 (9月15日苫小牧西港北埠頭)

総合戦闘射撃における 訓練公開

隊は、平成30年11月24日、北海道大演習場島松地区において、総合戦闘射撃における訓練公開を行った。本訓練公開は、総合戦闘射撃における特科隊の実射訓練等の見学により、自衛隊及び第11特科隊に対する更なる理解の推進、募集広報への寄与を目的に行った。

第11特科隊の協力団体である「11特OB会」、「やまぶき会」及び隊の防衛モニター並びに札幌地方協力本部小樽事務所と連携した募集協力者、平成31年度入隊予定者を招へいして特科隊の概要説明をすることも、99式155ミリ自走りゅう弾砲の実弾射撃及び第一中隊の指揮所活動を公開した。



▲実弾射撃を見学する訓練公開参加者

定年退官者紹介



松山准尉
(摂津市)
H30. 9. 23



濱谷准尉
(札幌市)
H30. 9. 23



富田曹長
(札幌市)
H30. 12. 28



川崎曹長
(札幌市)
H31. 1. 17

永きに亘る北の防人 お疲れ様でした。

※()については定年後の居住地
日付は定年退官日

一月昇任者紹介

二等陸尉へ
黒川 修史 (本部管理中隊)

陸曹長へ
矢取 道春 (本部管理中隊)

勝谷 孝一 (第三中隊)

一等陸曹へ
當麻 太一 (本部管理中隊)

藤原 愁平 (本部管理中隊)

木下 盛利 (第二中隊)

二等陸曹へ
及川 優太 (本部管理中隊)

渡邊 駿 (第三中隊)

三等陸曹へ
杉原 栞 (本部管理中隊)

林 健斗 (第一中隊)

藤本 航 (第一中隊)

櫻井 晶 (第三中隊)

家族が増えました

第1中隊 原2尉



明けましておめでとうございませう。昨年1月15日に長男の吉毅(よしき)が誕生いたしました。守るべき家族が増えたことの喜びと責任を噛み絞めています。親として社会人として、より一層活躍できるように精進して参ります。

第2中隊 下館2曹



明けましておめでとうございませう。昨年11月10日に元気な男の子が誕生しました。名前は晃士朗(こうしろう)です。本年も親子ともども宜しくお願ひ致します。

第2中隊 三浦3曹



昨年8月2日に第2子となる長女が誕生しました。名前は桃奈(もな)と名付けました。親子ともども今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願ひ致します。

第2中隊 渡邊3曹



明けましておめでとうございませう。昨年9月10日に第2子となる次男が誕生しました。名前は晴太(せいいた)と命名しました。家族も増えより一層勤務に励みたいと思います。

第2中隊 三上3曹



昨年11月7日に第3子となる長女が誕生しました。名前は莉湖(りこ)です。家族5人となりましたので、より責任感を持って仕事に邁進していき、家族を支えられるように頑張っていくきたいと思います。

第3中隊 渡邊3曹



昨年6月27日に第1子となる女の子が産まれました。名前は紗矢(さや)と言います。新たな家族が増えた喜びとともに責任も感じており、これからも一家の大黒柱として、より一層仕事に邁進してまいります。

第3中隊 立崎士長



新年明けましておめでとうございませう。昨年2月14日に第1子が誕生しました。名前を着(あおい)と名付けました。子供が誇れるような父になれるよう、勤務に精励してまいります。

結婚しました

本部管理中隊 玉利3曹



この度、昨年11月に入籍しました。これから、妻と二人幸せな家庭を築いていきたいと思ひます。また皆様にはこれからも温かく見守って頂けると幸いです。2018年は怪我に悩まされ、なかなか思い通り行かず、訓練面や勤務面では中隊の方々にはとても助けられた1年でした。その事を踏まえた2019年の抱負は、計画的にリハビリを実施して1日も早く中隊に復帰し、お世話になった分恩返しができると思ひます。

第1中隊 齊藤2曹



明けましておめでとうございませう。昨年9月13日に結婚し、ついに妻帯者となりました。今までは独身で自分の好き勝手やってきましたが、これからは2人力を合わせて家庭の為により一層仕事等頑張っていくきたいと思ひます。

第2中隊 露木士長



明けましておめでとうございませう。私は、昨年の3月4日に結婚しました。家庭を守る者として自覚を持ち笑顔の絶えない家庭2人で築いていきたいと思ひます。まだまだ分からない事もあると思ひますのでこれからも温かい目でもよろしくお願ひ致します。今年もよろしくお願ひ致します。

OB等への連絡とお願ひ等

一 入門証について

現在、期限切れの入門証をお持ちの方で今後も必要とされる方は、更新手続きをお願ひ致します。手続きに関しては、「特科隊広報・援護室」にて行っています。

電話〇一一一五八一―三一九一
(内線二六四七) 担当 嶋田

二 叙位及び死亡叙勲に関する手続きについて

自衛隊員として勤務され、在職中の功績と一定の要件が満たされた方は叙勲の対象となります。特に死亡叙勲は、ご遺族からの申し出によって手続きを進める事になります。この期間を過ぎますと叙勲が受けられなくなり、万が一ご本人が亡くなられた場合には、死亡日を含め五日以内に最寄りの地方協力本部、第11特科隊へ連絡することをご家族共々くれぐれもお忘れの無いようお願ひいたします。

三 その他

特科隊舎一階には特科連隊時代の歴史を展示した広報展示室がございます。ご訪問の際にはお気軽にお立ち寄りください。

電話〇一一一五八一―三一九一
(内線二六四六) 担当 吉田